

2026年度 鶴見大学文学部

文化財学科

〈総合型選抜入試〉

2期

〔課題〕……………「美術工芸品を解説する」

「美術工芸品」（芸術作品、伝統工芸品＝絵画・彫刻・書・工芸品など）の中から、あなたの好きなものを1つ選んで観察し、解説をレポートにまとめなさい。

●2期の課題について

1、自分の好きな作品を1つ選んで、実際に見に行き、観察する。

美術館や博物館、資料館などで展示されている「美術工芸品」の中から1つを選んで、解説してください。作品の所在地、古さ、大きさなどは問いませんが、必ず実物を見て作成してください。

2、必要事項

- 1、正式名称、読み方、作品の属するジャンル。
- 2、製作（制作）された時代、製作（制作）者。
- 3、全体または部分における大きさ、様式、素材（材料）、および技法など。
- 4、時代背景。
- 5、どんな人々が守り伝えてきたか、現状はどうなっているか。
- 6、文化史上の位置や価値、また将来に守り伝えていくために考慮すべきこと。
- 7、参考文献として、専門の図書3冊以上を使用し、その一覧をレポートの末尾に示すこと。

3、注意点

- ・全体の形や構造、細部のつくり、色あいや風化の具合など、実物をよく観察すること。
- ・観察時にメモやスケッチ、写真撮影などをすること。
- ・写真撮影や資料の利用については、許可が必要な場合もあるので、事前に確認すること。
- ・参考文献の一覧には、著者名、書名、出版社、刊行年月をわかる範囲で示すこと。
- ・参考文献には、美術館や博物館などの解説板やパンフレット、リーフレット、図録（カタログ）などを資料としてもよい。

●様式について

言語	日本語の漢字仮名交じり文で記述することを原則とする。
構成	○表紙 ……「題目」、「高校名」、「氏名」を明記すること。 ○目次 ……各章段の「タイトル」と、その冒頭のページの「番号」を記すこと。 ○本文 ……「注」、「参考文献」、「その他」を含む。 ・各ページ番号を付すこと。 ・「図」や「写真」、「表」や「グラフ」の使用可。 → 図や写真が大きい場合は、折り込みにしてもよい。 「注」 ……本文の記述に対する注意書き。出典や「用語の説明」などを記す。 それらの記述を本文から分けることで、本文の流れを阻害しないように工夫する。 「参考文献」 ……参考図書や論文などの情報を明記する。 「著者名（団体名）」、「書名（論文名）」、「出版社（雑誌名）」、「刊行年月」 → ネット情報は極力避けること。やむを得ない場合は「サイト名」や「URL」などを明記すること。 （その他） ……用語解説など。
体裁	〔ワープロ使用の場合〕 ・ A 4 サイズの用紙を使用。 ・ 縦書き、横書きいずれも可。白紙の用紙に片面印刷とする。 ・ 表紙、目次をつけること。本文と同じ種類の用紙でよい。 ・ 本文は、図や写真などを含んで、用紙 4 枚以上とする。 ・ 本文の文章は 2,400 字以上とする。 〔手書きの場合〕 ・ 市販の A 4 サイズの 400 字詰原稿用紙を使用。 ・ 縦書き、横書きいずれも可。黒のペン書きとする。 ・ 表紙、目次をつけること。本文と同じ種類の用紙でよい。 ・ 本文は、図や写真などを含んで用紙 8 枚以上とする。 ・ 本文の文章は 2,400 字以上とする。

★ 2 期の課題に関する質問の応答は行っていません。